

留寿都小学校学校便り

令和2年9月30日



# べにまる

発行責任者

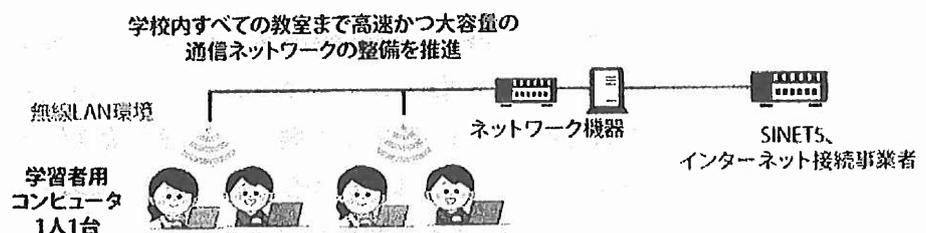
松原 康雄

## PC 端末一人一台の時代へ

校長 松原 康雄

秋の気配を感じる季節となり、気がつけば令和2年度も半分を折り返すところまで来ました。これまでは新型コロナウイルス感染症に日々の生活が振り回された印象でしたが、ウイルスについてわかってきたことも増え、これからは感染症対策をしっかりと行った上で少しずつ通常の生活に教育活動を近づけていくことができそうです。

現在、国のGIGAスクール構想により、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現するため、小・中学生に一人一台PC端末を整備することが進められています。本校では1、2年生にiPad、3年生以上にChromebookのノートパソコンが整備されることになり、配備・セッティング等を終えた学年から使用を開始しています。まだ運用を始めたばかりなので突然インターネット等につながらない等のトラブルはありますが、授業の途中でインターネットを使った調べ学習が行われたり、撮影した数多くの写真データから必要な写真を選び出したり、文書と写真を組み合わせたレポートの作成に取り組んだり、それらの様子を見ていると子どもたちが身につけるスキルも変わってきていると感じます。これからの学校の様子はこれまでのものとは変わっていくことでしょう。私達もこれらの変化を柔軟に受け入れ、変化し続ける社会で子どもたちがしっかり生きていくことができる力をこれからも学校生活の中で培っていきます。



出典：文部科学省初等中等教育局「令和2年度概算要求主要事項」より作成

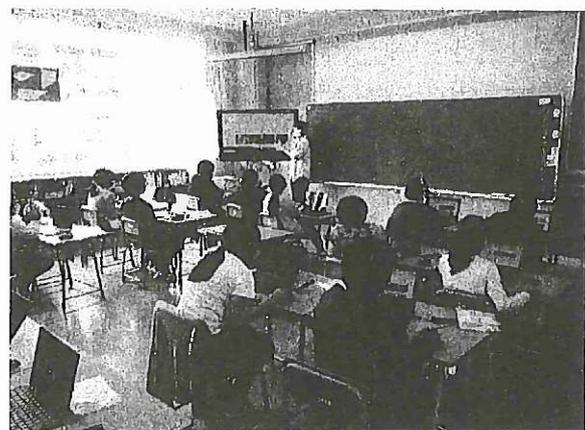
# 児童会役員選挙

前期児童会が終わり、後期の活動に入ります。まずは児童会3役を決める選挙を行いました。選挙管理委員会からの告示をうけ、立候補者と責任者がポスターを作成しPRします。今までは、給食時間に各教室に回って遊説していましたが、今年は放送室で公約などを説明し、教室のテレビで視聴するという方法にしました。立ち会い演説会は従来通りの方法で、みんなの前で演説しました。どの候補者も、原稿をしっかりと暗記し、堂々と演説していました。



# 一人一台タブレット

国のGIGAスクール構想で、一人一台のタブレット端末の普及が以前から言われていましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大でオンライン授業のニーズが高まり、前倒しでの導入になりました。留寿都は管内でも早くに整備され、現段階で3年生以上の全員にタブレット端末が支給され、早速授業で活用しています。調べ学習に使ったり、動画を視聴して理解を深めたり、子供達の意欲の高まりを感じます。



# 読み聞かせ・収穫体験

1・2年生は、留寿都高校が栽培してくれた、枝豆ととうもろこしを収穫させていただきました。例年は、種を植えるところも高校生に手伝ってもらったりなど、たくさん交流させてもらっているのですが、今年は収穫だけになってしまいました。教材園で、2年生はさつまいも、3年生はジャガイモの収穫をそれぞれ行いました。畑おこしの段階から地域の方にお手伝いいただき、特に今年は豊作になりました。また、例年毎月末に行っていた朝の読み聞かせですが、当面の間中止にしていたのですが、今月から再開しました。今までは本の近くに集まって聞いていましたが、今年は間隔を開けたまま行いました。いろいろと制限があるなかでも、子供達のために協力していただきありがとうございます。

